

2019年 あじさいまつり俳句優秀作品

榎本 達 選

特選（一般の部）

紫陽花や手元に母の日記帳

狛江市 岩野 記代

評 折に触れてお母さんの日記を読まれ、紫陽花などを目にするにつけ記憶が蘇るのでしよう。

それぞれの色田に落す花菖蒲

府中市 小林美智恵

評 水の張られた田に花菖蒲がその影を落します。花とその影が両方で美を演出します。

あぢさゐの青き径きて眼の澄めり

川崎市 藤原 幸子

評 青さの占める小径を歩んでいると自然に心と眼が澄んできます。詩的イメージのふくらむお作になっているようです。

青梅雨やまひまひず井戸右まはり

府中市 芝 喜久子

評 「右まはり」と意外な視点を提示して、おやっと思わせませす。「青梅雨」という季語もよく効いているように思われます。

掬ふ手をひらりと躲すあめんぼう

青梅市 菊地 洋子

評 何か用具がないとあめんぼはつかまえられそうもありません。その辺の特性を巧みに捉えているように感じられます。

特選（小・中学生の部）

該当者なし

佳作（一般の部）

生き生きと遊ぶ童や手毬花

府中市 高柳 玲子

長火箸灰搔上げて夏炉かな

府中市 柿谷 妙子

ふるさとのいろいろの匂ひ蛙鳴く

府中市 大内みち子

荒縄で編みし円座や土間冥し

府中市 山田 昭子

あぢさゐと言葉を交はす母のをり

東村山市 中村 純子

あぢさゐにいろとりどりの傘をさす

府中市 高畠 妙恵

そよ風に水影皺む額の花

府中市 志田 礼子

木漏れ日のまひまひず井戸濃紫陽花

所沢市 多田満里子

雨に濡れ山紫陽花の紅ほのか

小金井市 山川小夜子

雨意はらむ風にときめき七変化

府中市 福江 治一

佳作（小・中学生の部）

あじさいについた朝つゆきらきらと

立川市 稲田 創真 小四

（敬称略 新漢字・歴史的仮名遣い 順不同）

【榎本 達】 昭和二三年東京都府中市生まれ。市村究一郎に師事。

俳人協会会員。